



平成 22 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 アロカ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 吉住 実  
(コード番号 7704 東証第 1 部)  
問合せ先 経理部長 小町 博之  
(TEL. 0422-45-5112)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と決算値との差異、

為替差損の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 22 年 7 月 27 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間の連結業績予想と本日公表の同期業績に差異が生じましたのでお知らせいたします。また、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間において、為替差損を計上いたしましたのでお知らせいたします。

併せて、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 5 月 10 日に公表しました平成 23 年 3 月期の連結業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 第 2 四半期（累計）連結業績予想値との差異（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 20,000	百万円 △100	百万円 △1,000	百万円 △800	円 錢 △29.24
今回実績値 (B)	19,687	△282	△1,240	△864	△31.60
増 減 額 (B-A)	△312	△182	△240	△64	—
増 減 率 (%)	△1.6	—	—	—	—
（ご参考）前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	18,186	△985	△1,252	△1,099	△40.19

差異の理由並びに為替差損計上の内容

第 2 四半期連結累計期間につきましては、米国経済の回復の遅れや欧州諸国の財務危機に端を発した金融不安の顕在化等に加え、為替が日本政府の介入はあったものの依然として円高基調で推移するなど、厳しい状況が続きました。

このような状況の中、汎用分析装置は民間企業向け大口案件の成約により、また医用分析装置は検体処理システム、OEM 分析装置とともに順調に推移し、それぞれ想定通り進捗しました。しかしながら、医用電子装置は為替変動の影響を受け依然として厳しい状況で推移したため、連結売上高は業績予想を下回りました。

また、利益につきましても、引き続きコストダウンの推進及び経費節減に努めましたが、売上減少に伴う営業利益の減少、急激な円高の進行による為替差損 912 百万円の発生などにより、業績予想を下回りました。

2. 通期連結業績予想の修正（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 47,000	百万円 2,600	百万円 2,500	百万円 1,000	円 錢 36.56
今回修正予想 (B)	45,000	2,000	1,000	200	7.31
増 減 額 (B-A)	△2,000	△600	△1,500	△800	—
増 減 率 (%)	△4.3	△23.1	△60.0	△80.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 22 年 3 月期)	45,811	2,451	2,004	662	24.21

業績予想修正の理由

平成 23 年 3 月期通期連結業績予想につきましては、平成 23 年 3 月期第 2 四半期実績に加え、依然として為替が円高基調で推移する見通しであることから、平成 22 年 5 月 10 日に公表しました予想数値を修正いたします。

なお、修正後の主な為替レートは 80 円/米ドル、115 円/ユーロを前提としています。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

以 上